

第 14 回日中韓 3 か国地方政府交流会議が開催されました

交流親善課

当会議は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の 3 か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、3 か国の国際交流機関（日本・自治体国際化協会、中国・中国人民対外友好協会、韓国・全国市道知事協議会）が主催し、輪番制にて 1999 年より毎年開催しているものです。

本年 7 月 30 日から 8 月 2 日に渡り、中国雲南省昆明市において「第 14 回日中韓 3 か国地方政府交流会議」が開催されました。会場である昆明市は中国の内陸部に位置し、長時間の移動が必要であるにも関わらず、234 名（日本 43 名、中国 129 名、韓国 62 名）もの関係者が一堂に会し、顔を合わせての交流ができました。

日本からは、藤沢市鈴木恒夫市長による地方政府の共同発展を促進する」を皮切りに、サブテーマ「伝統文化の保護と観光産業の発展」の事例発表を西倉高山副市長より「環境配慮型の都市計画と持続可能な発展」を稲葉仙台副市長より、また「地方政府の交流を通じた地域経済の発展」を天野長崎県国際課長に発表いただきました。



藤沢市 鈴木市長



会議場の聴衆

鈴木藤沢市長からは、ご当地昆明市と姉妹提携するきっかけとなった、両市の歴史についてお話しいただき、日中国交正常化より遙か以前に、民衆の力でつながった交流が現在まで脈々と受け継がれていることに、各国からの参加者は心が動かされていました。



高山市 西倉副市長



仙台市 稲葉副市長



長崎県 天野国際課長（中央）

いずれの発表も、中国、韓国との交流が、地域の活性化につながっている現状があること、地方政府間の積極的な交流が、お互いの発展になくてはならない意味を持つことが示され、中国、韓国の参加者との共通認識を図ることができました。

本会議の詳細は『自治体国際化フォーラム12月号』で紹介する予定です。そちらもあわせてご覧ください。

本会議の主なプログラム	
主 題	『交流協力を深め、地方政府の共同発展を促進する』 中国 雲南省昆明市長 張祖林 日本 神奈川県藤沢市長 鈴木恒夫 韓国 忠清南道副知事 具本忠
サブ テー マ①	『伝統文化の保護と観光産業の発展』 日本 岐阜県高山副市長 西倉良介 韓国 慶尚南道咸陽郡 群守権限代行 千聖奉 中国 浙江省人民政府外事弁公室 副主任 陸国灝
サブ テー マ②	『環境配慮型の都市計画と持続可能な発展』 韓国 ソウル特別市江東区 副区長 金栄翰 韓国 全羅南道順天市副市長 徐福男 中国 江蘇省無錫市人民政府 外事弁公室 副主任 許睿煜 日本 宮城県仙台副市長 稲葉信義
サブ テー マ③	『地方政府の交流を通じた地域経済の発展』 中国 四川省人民政府外事弁公室 副主任 羅雷 日本 長崎県国際課長 天野俊男 韓国 慶尚北道亀尾市 経済通商局長 李弘憲

『第15回日中韓地方政府交流会議』は富山県にて開催します

日中韓3か国の輪番制で開催している本会議ですが、今回は、来年（2013年）8月に富山県において開催します。観光、経済、環境など多様な面から、中国、韓国との共通の課題についての議論が期待されます。テーマや日程は、後日公表しますので、ふるってご参加ください。